学校番号	1004

平成３１年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	改訂　化学基礎（東京書籍）						
副教材等	改訂　ニューアチーブ化学基礎　（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小･中学校で学んだ理科の化学分野について詳しく学びます。授業では学習した内容を小テスト（問題集から作成したもの）で振り返りながら進めていきます。
小テストのために問題集からこまめに課題を出しますが、ただ答えを覚えるだけではなく、その答えに至る過程・理由を授業の内容を思い出しながら取り組んでください。
また、２編１章物質量と化学反応式では物質量をはじめとした新しい考え方を学びます。これは４単位化学でも通して扱う考え方なので、一年次にしっかり押さえてください。

２　学習の到達目標

１．化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。
２．原子に構造及び電子配置と周期律の関係を理解できる。
３．化学反応の量的関係，酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに日常生活や社会と関連付けて考察できる。
４．上記の目標を達成するために探究活動を行い，学習内容を深めるとともに，化学的に探究する能力を高める

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら化学や化学現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	化学や化学現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	化学や化学現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学や化学現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察･実験の記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期</td><td rowspan="3">物質の成り立ち</td><td>物質の研究</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="4">a: 物質の構造・状態・成分・化学結合と物質の性質に関心をもち，意欲的に物質を探究しようとする。
b: 物質の構造・状態・成分・化学結合と物質の性質を調べることにより原理・法則を見出し総合的に考察できる。
c: 物質の分離・成分元素の確認・物質の性質観察など基本的な実験操作を習得する。
d: 物質の探究をするために，物質の構造・状態・成分・化学結合と物質の性質に関する基本的な概念や原理・法則などの知識が必要であることを理解している。</td><td rowspan="2">学習状況
探究活動
ノート・ワークシート
観察・実験
定期考査</td></tr>
<tr><td>物質の構成粒子</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">2学期</td><td>物質と化学結合</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">学習状況
探究活動
ノート・ワークシート
観察・実験
定期考査</td></tr>
<tr><td rowspan="2">物質の変化</td><td>物質量と化学変化</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="2">a: 物質量と化学反応式，酸と塩基，酸化還元反応に関する事物・現象に関心をもち，意欲的にそれらを探究するとともに，科学的態度を身に付けている。
b: 物質量と化学反応式，酸と塩基，酸化還元反応に関する事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験などを通じて，事実を分析的・総合的に捉え，実証的，論理的に考察して問題を解決し，科学的に判断できる。</td></tr>
<tr><td>酸と塩基</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

3学期		酸化と還元	○			○	c: 観察，実験の技能を習得するとともに，物質量と化学反応式，酸と塩基，酸化還元反応に関する事物・現象を科学的に探究する方法を身につけ，それらの過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。 d: 観察，実験などを通して，物質量と化学反応式，酸と塩基，酸化還元反応に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し，基本的な知識を身につけている。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。